

1982 (毎月1回) 発行

8月号

(村の面積)

332.60km²

発行所 福井県大野郡和泉村

広報

いずみ

(昭和57年7月1日現在)

村の人口

総人口	1,416人
男	715人
女	701人
出生	0人
死亡	0人
転入	11人
転出	9人
世帯数	446世帯

カッパの季節



みんなで越美北線を利用しよう!

第64回 (臨時議会) 議長に吉村外治氏 副議長に谷 義明氏



議長



副議長

議員改選に伴う第六十四回臨時議会は七月二十三日開か

健康づくりの食生活



子供たちにとって、待ちに待った夏の訪れです。家

族で海や山へでかけるなど、楽しい計画を立てていることと思ひます。ところで、食生活の方はいかがですか。暑さのために生活のリズムが狂いやすく、食生活も乱れがちとなります。子供さんのいる家庭では、とくに注意しましょう。暑さで食欲がないと、毎食軽いもので済ませたり、食事を抜いたり、アイスクリームやジュースなどをとりすぎてしまう——このような食生活

清涼飲料水を

とり過ぎないように

を続けていると、体の調子がくずれてしまいます。夏の食事で気をつけたいことは、まず栄養のバランスです。夏は水分を多く必要とするため、ややもするとジュースなどの清涼飲料水を多くとりがちですが、飲みすぎると疲労や食欲不振を招きます。

清涼飲料水よりは牛乳を飲んで水分を補いましょう。ビタミン類やタンパク質をとることも忘れてはなりません。とくに肉、魚、豆腐などタンパク質にとんだ食品は夏に衰えがちなスタミナの減退を防ぎます。三度の食事、規則正しくとるよう心がけましょう。とくに子供の場合は、もともと栄養の摂取が少ないうえに、消化吸収力が大人にくらべて

劣りますので、おやつは一日三回の食事に次ぐ、第四の食事と考へて、質・量ともに気を配りましょう。夏を健康に過ごすには、三度の食事をきちんととり、早寝早起きを励行するなど規則正しい生活を送ることが大切です。朝のラジオ体操や水泳など適度な運動を心がけるとともに、十分な睡眠をとり、健康で楽しい夏を過ごしましょう。

れ、議長、副議長をはじめ、総務、文教厚生、産業土木の三常任委員会の委員などの選任が行われ、議長に吉村外治氏、副議長に谷義明氏が決まりました。さらに、監査委員の選任についてなど二議案が原案どおり可決されました。各委員は次のとおりです。(敬称略)

- ◎総務常任委員会
 - 委員長 桜川 義夫
 - 副委員長 田村重次郎
 - 委員 三村 登治
 - 委員 登 久男
- ◎文教厚生常任委員会
 - 委員長 三嶋 藤市
 - 副委員長 原田 時彦
 - 委員 三嶋 利夫
 - 委員 吉村 外治
- ◎産業土木常任委員会
 - 委員長 木嶋 政雄
 - 副委員長 竹田津喜夫
 - 委員 吉川 基
 - 委員 谷 義明
- ◎越美線全通促進対策特別委員会
 - 委員長 三嶋 利夫
 - 副委員長 田村重次郎
 - 委員 三嶋 藤市
 - 委員 原田 時彦
 - 委員 登 久男
 - 委員 谷 義明
- ◎油坂道路改良促進対策特別委員会
 - 委員長 吉川 基
 - 副委員長 三村 登治
 - 委員 桜川 義夫
 - 委員 竹田津喜夫
 - 委員 木嶋 政雄
 - 委員 吉村 外治
- ◎鉱山対策特別委員会
 - 委員長 竹田津喜夫
 - 副委員長 原田 時彦
- ◎大野地区消防組合
 - 議員 吉村 外治
 - 議員 桜川 義夫
- ◎大野勝山地区広域行政事務組合
 - 委員 三村 登治
 - 委員 田村重次郎
 - 委員 登 久男
 - 委員 三嶋 利夫
- ◎固定資産評価審査委員会委員の選任について
 - 上大納 番屋喜代志
- ◎監査委員の選任について
 - 後野 三嶋 利夫
- ◎大野地区消防組合
 - 議員 吉村 外治
 - 議員 桜川 義夫

宅地造成事業完成

人口の流出防止に 宅地分譲開始

本村が過疎対策の一環として、住民の定着化と福祉の向上を図るために、朝日地区で進めてきました宅地造成事業は、七月末日で別図のとおり完成しました。

宅地は、国鉄九頭竜湖駅西側の国道一五八号線沿いで、造成戸数は一四戸分となっております。



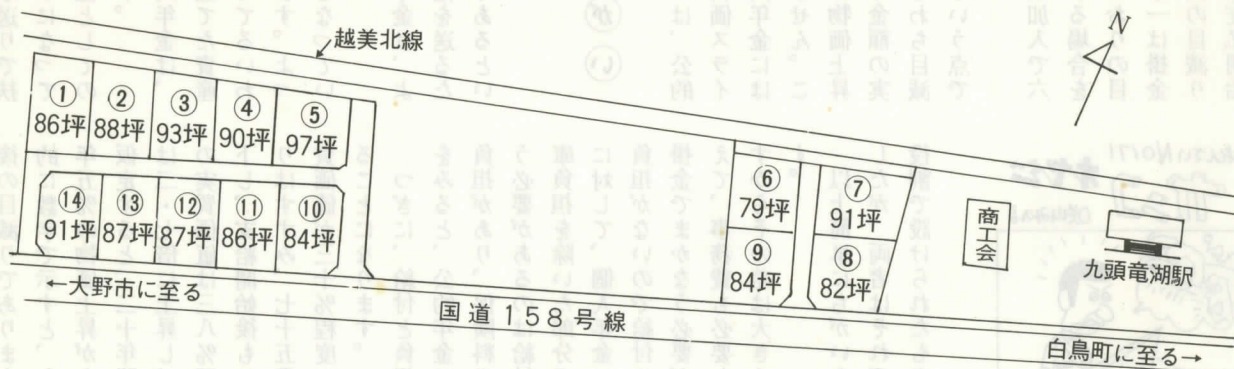
完成した分譲地

おります。(坪数は若干違うことがあります。)

ただいま、分譲の申込みを開始しましたので、ご希望の方は早めに申込みをしてください。

(申込書及び分譲要綱は、総務課にあります。)

朝日宅地造成区画完成図



注……①～⑭は地番ではなく、整理番号です。

夏休み…子供の交通事故をなくそう



夏休みに入ると、子供たちは、解放感などから、せっかく身についた正しい交通ルールや安全な動作を忘れがちになります。家族みんなで、交通安全について話し合いましょう。

年金コーナー

公的年金と個人年金のちがい

最近、「公的年金と個人年金ではどちらが有利ですか」という言葉をよく耳にしますが、本来両方を比較することは意味のないことです。

制度の役割割

公的年金は、いうまでもなく広く国民全体を対象とした制度であり、現在の国民皆年金体制のもとでは、国民の義務であります。さらに、公的年金は、勤勞

俳句・短歌コーナー

俳句

一、力なく 寒さにたえる セミの声 高地谷源流

あじさい (朝日中)

- 一、汗ふいて 目に入るあじさい 和やかに 中屋 克己
- 一、あじさいに ひかれてとまる 雨の中 今田 真二
- 一、あじさいで 心やすまる テスト前 清水 和英
- 一、紫陽花を 目にしてとまる 登下校 尾花 朋之
- 一、あじさいは 雨の中でも 光りつつ 巢守 和義
- 一、紫陽花や 花びんで枯れて かなしそう 新井 幸代
- 一、紫陽花や かたすみなれど 光りける 稲郷 暢恵

短歌

- 一、九頭竜の 流れは枯れし 川跡の 水 蓮
- あしのしげみに よしきりの声
- 一、都での 詩吟の大会は 素晴らしく 詠い終へし感激に 友と抱合う 千代子

世代が老齢世代を順送りで扶養するという仕組みになっており、老後生活の柱としての役割を担っています。

これに対して個人年金は、自らの努力で積み立てた資産を、自らの老後にあてるいわば貯蓄の形であります。よって加入は当然任意となっております。

このように個人年金は、より豊かな老後の生活を送るための任意的な手段であるといえます。

両者のちがい

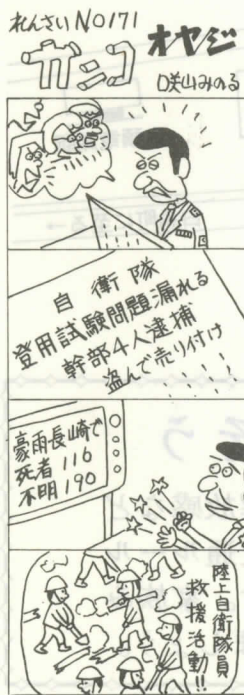
まず大きなちがいは、公的年金には年金額の物価スライド制があるが、個人年金にはこの仕組みがありません。このため、個人年金は物価上昇があつた場合には年金額の実質価値の低下、すなわち目減りが避けられないという点であります。

たとえば、四十歳加入で六十歳から年金を受取る場合を考えてみると、二とりの目減りがあります。第一は掛金を払いこんでいる間の目減りであり、第二は年金支払開始

後の目減りであります。具体的に数字で示すと、もし、毎年5%の物価上昇があつたと仮定すると、二十一年間に物価は二・七倍に上昇し、年金額の実質価値は三八%程度に低下し、支給開始後もこの目減りはすすみ、七十五歳では実質価値が三十%程度に低下することになります。

つぎに、給付と負担の関係を見ると、公的年金には国庫負担があり、保険料でまかなう必要があるのは給付から国庫負担を除いた部分であるのに対して、個人年金には国庫負担がないので給付の全額を掛金でまかなう必要があり加えて、事務費も必要となりますからその差は大きくなります。

以上簡単にちがいを述べましたが、両者はそれぞれ別な役割で設けられたものです。



道路をまもる月間

八月一日〜八月三十一日

運動の重点

- ① 道路環境の点検と整備
- ② 道路の正しい利用の指導
- ③ 道路愛護思想の普及

推進標語

ふれあいを 今日のはぐくむ 道づくり
道づくり 豊かにのびる くらしと文化

おわび

先月号の「化石がもたらす文化の交流」のみだしのなかで、「千葉大教授」は「千葉大教授」の間違いでしたので訂正いたします。